

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信
～ 事業所訪問 vol.12 ～
「中山工業株式会社」
町内には、優れた技術を持った会社が多く
存在します。事業所の持つ技術や
魅力を町長自ら訪問して、目で見て、
お話を伺い、住民に情報発信する
「事業所訪問」を
連載します。



会社概要の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第12回の事業所訪問は、1月16日に中山工業株式会社を訪問し、中山透社長にお話を伺いました。

中山工業株式会社は食品容器製造を主体とする本社工場(三芳町)と医薬品製造及び充填加工の受託を行う小鹿野工場を持つ全社員100人の企業です。

昭和22年(1947年)、先代の祖父が戦後の東京都大田区蒲田で合成甘味料の製造販売業として創業し、その後、大手製薬会社の洗剤や消臭剤の家庭用品製品の受託製造をしたことが前身となり、現在の事業につながっているとのことでした。

平成22年(2010年)、西秩父商工会で小鹿野町の空き工場の紹介を受けたこと、小鹿野町の人材の技術力の豊富さ、ものづくりのレベルの高さ等に惹かれたことから、小鹿野町で事業をはじめるとなると、9年目を迎えました。この春からは、大手除湿剤メーカーからの受注製品の増産に伴い、泉田地区に工場を増設しました。

案内していただいた小鹿野工場は、芝生の手入れの行き届いた広い敷地(10,649㎡)で、主に使い捨てカイロ、トイレタリー商品等の作業工程がスピーディに行われていました。機械工具の調整は経験者により緻密に行われ、次世代の社員へ技術力の継承を惜しみなく伝えていこうとしていました。



中山社長(左)

常に、顧客の立場に立ち、「顧客の満足度」を企業理念に掲げ、創業から積み重ねた長きに亘る経験を糧に、他社との異なる技術に自信を持ち、社員とともに独自の技術力を活かしたものづくりに取り組む企業であると感じました。

わが社の主力製品

本社工場は、主に加工食品容器、乳製品容器、菓子冷凍類容器、医薬品容器、産業資材容器などの食品・医薬品容器の製造を主体としています。

小鹿野工場は医薬品からトイレタリー商品の受託製造が主体で、使い捨てカイロ、ペット用品、家庭用園芸肥料などお客様のニーズに応える製品を常に提供しています。

ここに自信あり

昭和40年から複合素材による組合せや、異なる加工方法での組合せにより他に類を見ない独自の高性能容器の開発を行い、また、本社と小鹿野工場の加工技術で、川上産業から川下産業まで一貫性によるトータルな生産技術がお客様から厚い信頼を得ています。

本社工場(三芳町)



会社概要

代表者 代表取締役 中山 透
従業員数 100名
創業 1947年
所在地 本社:入間郡三芳町竹間沢402
小鹿野工場:小鹿野町小鹿野580
秩父工場:小鹿野町下小鹿野895
電話 小鹿野工場:0494-75-4880



こんにちは。
町長です。

**小鹿野町若手職員おがの創生
プロジェクトチームについて**

ある数値の報告を受け強いショックを受けました。それは平成30年(1月から12月)の1年間の小鹿野町での出生者数が38人であったことです。過去3年間のそれが40人台で推移していましたが、30人台に突入してしまったことは非常に厳しい現実を突きつけられました。

町では、様々な定住化対策、子育て支援対策などを進めております。そのような中で、平成29年10月に町役場の若手職員(概ね35歳以下、現在22名の職員)で「小鹿野町若手職員おがの創生プロジェクトチーム」を結成し、町の喫緊の課題である人口減少対策についての事業提案、実施などについて横断的な組織体制で取り組んでおります。

若手職員の柔軟な新しい発想で「町民が住み続けたいと思う町、町外の方が魅力を感じる町をつくること」を目標に活動を続けています。平成30年度は具体的に次の4つの大きなテーマを設定し、班を編成して事業を進めています。

- ①情報発信(小鹿野町の情報を町内・町外に発信する)
- ②付加価値発見・創出(小鹿野町の魅力を再発見・新しい魅力をつくる)
- ③産業振興・就労支援(町内で働くことを支援する)
- ④関係人口創出(継続的に町に関わる人をつくる)

現時点での進捗状況は、

①情報発信班では、移住者(新規就農者)を対象としたインタビュー冊子を作成し、県農業大学校、農業関連学部のある大学、県関連施設、農協、都内のふるさと回帰支援センターなどで配布いたします。また、インスタグラム写真展を開催し、入賞作品を広報紙や町ホームページ等でお知らせいたします。

②付加価値発見・創出班では、フィルムコミッションの確立のため、写真・動画撮影基礎講習会を開催し、町ホームページでロケ誘致のための空き校舎の紹介ページを作成中です。

③産業振興・就労支援班では、町内14事業所を掲載した「事業所ガイドおがの」の冊子を作成し、1月13日の町成人式や小鹿野高校2年生に配布いたしました。今後も継続して記事募集を行い、掲載事業所の充実を図ります。

④関係人口創出班では、旅館業者へ体験プログラムやアンケートに関するヒアリング調査を実施し、体験プログラム一覧を作成いたします。

このように若手職員プロジェクトチームでは、自分の仕事をしながらそれぞれの分野で研修や実地調査などを行いながら事業を展開しております。町民の皆様も是非、若手職員のこのような活動に対しご協力を賜りたいと存じます。また、町としても若手職員が将来の小鹿野町を背負って立てるように育成に努めてまいります。

小鹿野町長 森 真太郎

**申請をお忘れなく!
平成30年度分高校生等通学定期券購入費補助制度**

平成30年4月から公共交通機関を利用して通学する高校生等の皆さんに、「通学定期券」購入費用の一部を補助しています。

対象となる交通機関は小鹿野町営バス、西武観光バス(株)、秩父鉄道(株)及び西武鉄道(株)等が運行する各路線です。

※高校生等とは、高等学校生、中学校卒専門学校生及び5年制の高等専門学校生であって学年が3年生までの人です。

対象●町内に住所がある高校生等又は県立小鹿野高校に通う生徒で、同種の補助制度がない市町村に住所のある人

補助金額●通学定期券購入費の半額(100円未満切捨て)とし、月額3,000円を限度とします。

申請●30年度分は、3月29日(金)までに住民課子育て包括支援室に申請してください。※土・日・祝日を除く。

《申請の際に必要なもの》

- ①補助金交付申請書兼請求書
- ②学生証の写し
- ③通学定期券の写し(平成30年4月～平成31年3月分)
- ④領収書もしくはそれにかわるもの
- ⑤印鑑



問合せ●小鹿野庁舎・住民課 子育て包括支援室 ☎75-4101